

ミシガン大学方式による医療と介護連携のためのチームアプローチ

2017年3月11日（土）に大蔵暢先生（やまと在宅診療所大崎 院長）による、セミナー「ミシガン大学方式による医療と介護連携のためのチームアプローチ」を開催いたしました。

はじめに大蔵先生より、在宅で療養する高齢者を多職種でケアするにあたり、どのようなアプローチが効果的か、多職種連携の実践にあたるスタッフがどのようにチームアプローチを進めていくべきかに関して、大蔵先生が実際にあたられた事例を交えながらの講義がありました。

続いて、加瀬先生ファシリテーションによる事例検討会を実施いたしました。事例は参加者の方が実際にあたられた困難事例 2 例をお持ちより頂き、大蔵先生も含めて参加者全員でグループワークを実施しました。

セミナー参加者は社会福祉士、ケアマネジャー、介護士など、福祉、介護の最前線で高齢者ケアにあたられる方々が多く、各々にあたられた事例もご紹介頂きながら、大変活発な意見交換が行われ内容の濃いセミナーとなりました。

